

## こだわりの農業と福祉を連携し地域活性化 株式会社荒井ベジアスの取り組み

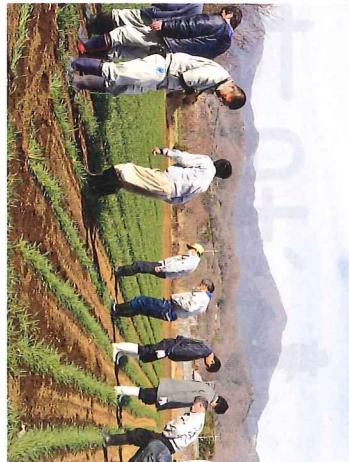
有機資源を循環させながら農産物を生産すると共に、障がい者雇用にも積極的に取り組み農福連携を目指す「株式会社荒井ベジアス平塚土屋農場」の取り組みが注目を集めている。

平塚市土屋の約1万5,000坪の土地で小麦、大根、玉ねぎ等の露地栽培や、葉物野菜、トマトなどのハウス栽培を行う土屋農場。昨年11月には直売所をオープンし、自社農園で採れた野菜類のほか、平塚、大磯、二宮などで有機農法を採用する近隣農家の生産品を販売している。直売所スタッフの浅井浩希さん(27)は

平塚養護学校を卒業後、施設外就労を経て同社に社員として雇用されている。農作業から直売所の店員まで勤め「最近はお客様に顔を覚えてもらえて話しかけてもらうことも。やりがいがある仕事だと感じて

いる」という。そのほかにも施設外就労の妻、メンバー40人ほどが日替わりで農業に従事しており、チームごとに収穫や袋詰めなどの作業を行なっている。現在社員として採用されているのは浅井さん1人。だができる仕事の幅を広げてもらいたい、障がい者の直接雇用を広げていきたいという。

提供を平塚市料理飲食業組合連合会が担う。同会の水嶋一耀さんは「節句には行事食といいものがあり、7月7日はそうめんとさ



**平塚土屋農場直売所**  
場所：土屋遠藤原（遠藤原バス停から西へ100mほど）  
営業：9時～15時、日曜定休  
(3月以降9時～16時、日曜も営業)